

ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

くろすろ〜ど

2015/3月号

会報誌

〜サロン月間カレンダー〜3月〜

にほんごがくしゅうはっぴようかい せま
「日本語学習発表会」迫る！！

■ サロンでお茶会

3月 6日(金) 午前10時30分〜12時
「絵手紙教室」(参加費100円〜200円)

3月 13日(金) 午前10時30分〜12時
「生け花教室」(花代500円) 要予約

3月 20日(金) 午前10時30分〜12時
「ダンス」(桜祭りの練習)

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

「日本語学習発表会」の開催される3月14日(土曜日
午後1時開始)も間近になりました。

多くの学習者さんやボランティアの方々に学習
の成果を聞いていただきたいと、発表する学習者さ
ん達の練習もラストスパートに入ったところです。
皆様ぜひ聞きにいらしてください。

(日本語学習発表会実行委員会)

■ ボランティア勉強会

3月 17日(火) 午前10時〜12時

*場所：4F会議室

テーマ：〜汗かき、靴かき、頭かき…
教えるって大変！〜

『あれを聞きたい、これを知りたい<SOS>』
—ボランティア現場からの声を聴きます。



■ 井戸端会議 (おしゃべり会)

3月 26日(木) 午後2時〜4時

☆ サロン春休みの予定

- ・3月21日(土)〜4月5日(日)までは、学習会は
春休みの予定です。
- ・春休み中は、事務局は午前10時〜午後4時半まで
開いています。その間、自主学習は可能です。

「企画部会員・緊急募集！」

現在、企画部会では部会員を募集しています。
バス研修旅行、BBQパーティー、市民との交流・国際
理解講座、年末のサロンの集い、小学校訪問、東京
外国語大学との連携講座等々、年間を通して学習者
とボランティアの楽しいふれあいの場を企画・立案す
るのが目的です。ワイワイおしゃべりしながらアイデ

アイデアを出し合

う楽しい部会です。

是非あなたの参加をお待ちしています！

*問い合わせ：金曜午後日本語学習部会・安島、またはサロン事務局へ。

「サロン新会則案」、骨子固まる！

サロンの創立20周年を期して進められてきた「新会則」づくり作業が大詰めを迎え、骨子が固まりました。

ポイントは、次の3点です。

- ① サロンの会員として、日本人ボランティアと外国人学習者の両方を正式に認めた。
- ② これまでサロンの活動を担ってきた「実行委員会」と「運営委員会」の2つの組織を一本化し、新「実行委員会」とする。
- ③ サロンの役員(=会長、副会長、会計、監事、各部会の部会長、副部会長)に「任期制」を導入し、原則として2年、最長でも4年で交代する。

新しい会則は3月11日の運営委員会で最終決定され、4月1日から施行される予定です。

会員全員に配布されますので、是非お読みください。

イベント報告

「三小の子供たちへの手紙」

藤田タミー(香港)

府中第三小学校3年2組の子供さんたちへ

こんにちは！ 府中国際交流サロンの学習者、タミーです。

2月10日に、三小でみなさんにお会いして、とてもうれし

かったです。

寒い日でしたが、みなさんが私たちの発表を聞いてくれたり、日本のでんどう的な遊びや行事などをいっしょけんめいに紹介してくれたり、そしてすばらしい歌を歌ってくれて、ほんとうにありがとうございました。私にとってはとてもいい体験でした。

みなさんがかわいい名札を作って、やさしく案内してくれました。こまやかな心づかいがとてもうれしかったです。

教室でいっしょにランチを食べたり、お話をしたり、ホンのじゃんけんをしたりして、とても楽しかったです。あなたたちの笑顔と元気なすがたを見て、私もあなな喜びを感じました。楽しい時間があったという間にすぎたまいましたが、また会えるのを楽しみにしています。

みなさん、今年の学年はもうすぐ終わりですが、クラスの友だちといっしょに頑張って、元気にすごせますようにのっています。タミー



合同研修講演会

「国際交流ボランティアってなあに」 ～さまざまな在住外国人を知ろう～

恒例の日本語教授法研修会Ⅱの合同研修講演会は、2月4日に東京外国語大学の長谷部美佳特任講師をお招きし表題をテーマにして行われました。50名を超えるボランティア、一般市民の方々が参加し、在住外国人の知られざる実情に耳を傾け、またグループワークに取り組みました。

今回は、在住外国人の高齢化に焦点が当てられました。日本では65歳以上を高齢者とし、2013年には全人口の25%にあたる3,200万人が高齢者という発表がありました。一方、2014年6月末に、60歳を超える在留外国人は、全体の208万人の10%を超える248,157人に達しています。高齢化は国境を越えての現象なのです。高齢者への福祉対策である介護保険や年金についても、受給資格は日本人のそれより壁が厚いことも紹介されました。また、介護施設に入るのに、言葉の問題もさることながら介護は家族の務めという価値観により抵抗を感じるという人も多いとのこと。介護施設では食事も深刻な問題になっているといいます。塩と油、粉もの(水餃子など)が料理の基本である中国東北部出身の中国帰国者は、和食の薄味、生食に耐えられず、また自分の味を伝えられず毎日うどんだけを頼んでいたという例も紹介されました。そんな中、全国各地で在日韓国人や中国帰国者のための高齢者施設が立ち上げられていることも報告されました。9グループに分かれてのワークでは、「自分が海外で長期に入院する」という設定で、不安に感じることを等々をお互いに考え発表し、それを通じ在日外国人の高齢者が置かれた立場を少しでも付度する機会を持てたのではないかと思います。

(編集部・和田)

世界の文化

「物忘れ」

韓国 林 栽琴



夫は家の中の事は私にお任せで文句をいわないタイプです。家事とか子供たちの教育とかお金の管理などは夫はぜんぜん口出ししません。その面ではありがたいし感謝しながら生活していました。私も今まで注意深く家事をやってきました。

夫は捜しモノが見つからずよくわたしを呼びます。確認したら目の前にあるということもしばしばです。「手袋がどこにある」っていつも聞くので「押し入れの二番目の引き出しにあるよ」って返事したら「さすがお母さん」って。「自然に覚えられるのにどうして見えないの」ってつい言ってしまう。

物覚えには自信がありました。夫も信頼してくれていました。でもこの何年間だんだん崩れてきているので悩んでいます。「歳を取るんだから自然だ」と言ってくれる友だちがありがたいけど凄く悲しいです。友だちの待ち合わせの時間間違え。貸した本を返してもらったのにまたさいそくしたりします。

韓国で、頭がわるいならその分体が苦勞するよという話がありますけどまさか私がそうです。外に出ると何度も戻ります。鍵、通帳、マスクなどいつも忘れます。数え切れないほどあります。友だちもよく忘れると言っていますが私が一番酷いと思っています。

自転車で出かけたのを忘れて荷物いっぱいそのまま帰ってしまう。買いたい物だけ買わなくて帰る。5万円借りたのに1万円返すなど。

一番多いのが鍵の忘れです。買い物から帰ったら玄関にさしたまま。来なかった泥棒さんに感謝しながら夫には内緒です。信頼してくれているのでっかりさせたくないのです。実は2年前自転車の鍵がなくなることがあります。娘たちは自転車乗らないからたまに物忘れする夫を責めました。あなたしかないって。その鍵が引越しの時私の鞆で見つかりました。恥ずかしいし、申し訳なかったので夫には言えませんでした。

物忘れが多くなって私もしそのままではいけないので記憶力がよくなるいい方法をネットで探したり、関係ある番組があったらメモしながらみています。運動もするし。頭にいいものがあったらできるだけ

沢山食べています。

安心して物忘れと認知症との違いです。物忘れは言えば思い出すけど忘れること。認知症はあった自体が分からないことだと聞いてからです。

私の努力にも関わらず毎日のように事件が起っています。不思議なのはそんなにがっかりしたのに今はあんまりおもいださないのです。

夫は信頼がだんだん落ちる私に今は文句をいわないです。諦めたと思います。夫は私を信頼してないです。今は自分を信じています。娘も信頼してないです。私が忘れた時用意してくれます。戻るから携帯とか鍵を鞆にいれてくれます。家事の一部も自分がやるようになりました。最近私が夫に「折りたたみ傘どこにある」って。私が芝居したのではないです。

私は安心して物忘れしています。

を書き込みました。

後半は各グループの発表です。学習者役や質問を受ける立場の日本人役、そして駅で流れるアナウンスの声など、会話の内容と共に各グループの特徴がそれぞれ出ています。某氏のアナウンスは京王電鉄もビックリの名調子でした。

まとめ・駅でのアナウンスは特に難しいと認識すること。

- ・日本人の話す自然な会話は（教科書と違って）外国人には難しい。
- ・学習者は、丁寧な言葉を使う習慣が大切。
- ・笑顔で誰とでも接することの大切さ。

などが伝えられました。

新ボラさん こんにちは!

「日本語ボランティアとの出会い」

月曜午前ボランティア 荻原雅子

私は一昨年の春に府中市に引越してきました。そして引越してきて1年経ち、府中での生活にも慣れてきた頃に、府中市の広報で日本語教授法研修会の案内を見つけました。

大学で日本語教育について学んだものの、そのまま実際に教える経験はほとんどなく20年が過ぎていました。ですが、「いつか、日本語教育に携われたら…」という思いは持ち続けていました。

この国際交流サロンの日本語ボランティアは、教授法の研修会を受けた後で参加できるということで、経験がなく、自信もなかった私には、まさにピッタリ!!といった感じだったので、迷わず研修会に申し込みました。

ボランティアには、昨年の9月から参加しています。実際に参加してみて、日本語のレベルやニーズの違う学習者さんたちに、「ちょうどいい日本語」を教えることへの難しさを痛感しています。そんな中で

勉強会報告 第58回

勉強部会 萱生由美子

○日時：2月17日（火）10：00～12：00

○出席者：18名

○テーマ：「うまく電車に乗れるかなあ」
—駅での場面会話—

今日は、身近な府中駅での場面会話をグループワークを通してみんなで考えてみました。

学習者、董さんは、台湾の出身です。日本語のレベルは「みんなの日本語初級 I」の15課あたり。「て形」を勉強しているところです。

京王線府中駅から電車に乗り、明大前で井の頭線に乗り換えて渋谷に行くという設定です。

駅で流れるアナウンスは、特に学習者には難しい語彙や敬語がたくさん使われています。

4グループがそれぞれの状況のもと、何とか現状を理解して目的地に着けるかどうか、知恵を絞って会話

皆さんよろしく◇学習者紹介

ミムラ ユウキ (フィリピン)



「初詣では家族の健康と マイドリームの実現をお願いしました」

フィリピンから去年の9月に来日。それまでは、ルソン島バングドのおばあさんのもとで、お兄さんと一緒に育ちました。現在は府中市で、フィリピン出身のお母さんと日本人のお父さんの3人暮らし。早く念願のホテルマンとなって仕事をするために、目下は日本語の勉強に専念しています。趣味はパソコンゲームと日本のアニメ。自転車も好きで、界隈を乗りまわしています。これまでの日本の暮らしで一番印象に残ったのは、今年の元旦、一家3人で神社に初詣をしたこと。家族の健康とマイドリームが実現できることをよくお願いしました。マイドリームとは、フィリピンでアパートのオーナーになることです。

結婚相手ですか、それはフィリピン女性ですね、やっぱり。

(坂倉)

も、学習者さんに何かを伝えることができた時には、なんとも言えない充実感を味わっています。

いろいろな都合で毎回参加、というわけにはいかない私ですが、学習者の皆さんに少しでも「日本に来てよかった!」「日本語を勉強してよかった!」と感じてもらえるように、これからもがんばっていきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

「一期一会を大切に」

金曜午後ボランティア 秀徳英子

9月からボランティアとして活動させて頂いております。

私の活動のきっかけについてのお話を致します。以前のことになりますが、外国に行った折に現地のボランティアの方々に大変親切にして頂きました。御自宅にお招き頂き、英語を教えて頂ける傍ら、その生活にも少しは触れることができました。

短い滞在でしたので、そのボランティアの方々ともちょっとした出会いでしかありませんでした。でも、そのちょっとしたことが、「私も日本に帰ったら、外国から来られている人達に、何か少しでもお役に立てるようなボランティアができればいいな」という気持ちにさせてくれました。

その時からだいぶ年月がたってしまいましたが、その時の気持ちの延長線上に今の私はあると思っております。

まだまだこれからで、勉強不足、経験不足の足りないことばかりですが、既にサロンで御活躍の先輩方にご指導を仰ぎ、学習者の方々との「一期一会」を大切に活躍をしていけたらと思っております。

どうぞよろしくお願ひ致します。



絵手紙
曹婷(中国)

京都だより

～100～

「北前船(きたまえぶね)」

すのうもとお
数納基雄

江戸時代、人や物を運ぶのは圧倒的に船だった。そして主要な航路は日本海だった。京・大阪と越前・越後・出羽さらには蝦夷(えぞ)をつないだのが「北前船」です。当初は越後の米や陸奥(みちのく)の木材を運んだ。若狭湾で陸揚げして、琵琶湖から淀川水系で京・大阪へ運んだ。琵琶湖岸の大津はいわば「京都港」であった。のちに下関から瀬戸内海を経て大阪に至る西回り航路が主力になった。北前船は物を安く買ひ、高く売れば、その差益で成り立つ商売です。能登が北前船の一大拠点となった。はじめは近江商人の雇われだった能登の船頭たちが、やがて自らの裁量で行く先々の産物を仕入れて売りさばく、北前船の船主に成長していったのです。

明治になると航路は北海道にまで延びた。開拓民の移住が進み、北海道の人口が急増した。米・味噌・醤油はじめ移民の生活物資はもっぱら北前船で運ばれた。小樽は北海道の玄関港として、物資が集積する一大経済都市になった。小樽に残る運河や倉庫群は、北海道開拓や北前船の歴史を物語る貴重な遺構です。京・大阪へ運ぶのは海産物だった。当時は「ニシン漁」の最盛期だった。ニシン粕、身欠きニシン、数の子、昆布などが大量に運ばれた。京都の食文化に与えた影響ははかり知れない。京の台所・錦市場には、北海道の昆布や干魚が並ぶ。昆布の食文化が「千枚漬け」「鯖寿司」「ニシンそば」などを生んだ。いまとなれば昆布は京料理のダシに欠くことのできない食材です。

かつては日本海こそ表日本だった。沿岸の港町に数多残る大富豪の邸宅や高度な美術工芸品は、北前船による繁栄の賜物です。「千石船は一航海で千両稼

ぐ」。能登の北前船主たちは、海運で築いた巨万の富で、憧れの京文化を受け入れたのです。能登には京都の祇園祭に似た風習がある。能登最大の北前船主だった「上時国家」には、加賀藩主も座るのを遠慮したという絢爛豪華な「大納言の間」がある。殿様もかなわぬとまで言われた酒田の豪商「本間家」には、京都から買い求めた豪華な雛人形がおびただしく残る。意外なことに北海道もまた京都文化圏だったのです。札幌の円山公園は京都の円山公園をモデルに造られました。小樽の花園公園は京都の嵐山や東山を模して造られたのです。

<編集部からのお知らせ>

これまで10年、100回にわたり好評連載を続けてきた数納基雄さんの「京都だより」は、今月をもって終了します。長期間のご愛読、ありがとうございます。一回の欠落もなく、軽妙洒落な文章で京都文化を伝えてくれた数納前編集長にも厚くお礼を申し上げます。

なお、数納さんは昨年秋からご病気療養中です。ご快癒を心からお祈りいたします。

(編集部一同)

日本語おちぼひろい

～23～

「る形」の恩恵

わ だ やすひろ きんようよる
和田泰弘(金曜夜)

外来語というと、コップ、てんぷら、背広等々、名詞に多く見受けられますが、外国語が日本語に溶け込んで動詞化した、例えば「ハモる」のような言葉もあります。メモる、ミスる、トラブる、パニックるなどもその仲間、「ハーモニーを合わせる」「メモする」「ミスする」「トラブルが起きる」「パニックになる」が省略され前述のような「る形」の外来語動詞になったようです。ショートメールなどでは最早欠かせない「る形」ですが、ハモる、メモる、ミスるなどは、市民権

を得て「ラ行5段活用動詞」として国語辞典に採用されています。カラオケの定番語「ハモってるね！」などは、それが定着する前は、「異なる音程の旋律が調和しているね!」、あるいは「音が重層的にきれいに重なっている!」とでも言っていたのでしょうか。

「パニックになる」は、「心が錯乱し、頭の中が恐慌状態になる」ことを指しますが、「パニック」のひとことで切羽詰まった気持ちが端的に伝わってくるようです。

ところで、「サボる」という表現、フランス語の「サボタージュ」に由来しています。大正時代、労働運動で使われるようになり、「サボタージュする」から「サボる」へ変化していきました。今では「怠ける」ことの代名詞になっていますね。「サボる」で思い出すが、東京・神保町にある喫茶店「さぼうる」です。阿久悠さんの自伝的小説「瀬戸内少年野球団」を映画化するとき、阿久さんとお話したことがあります。昭和30年頃、彼は大学生活を神田駿河台で過ごし、「さぼうる」に入り浸っていたそうです。店名はスペイン語の「味」で、学生が茶房（さぼう）で授業をサボるという意味が込められていることを教えてくださいました。映画「瀬戸内少年野球団」は、戦後すぐの淡路島を舞台に、野球を通して明るさを取り戻していく少年少女たちの友情を描いた作品で、彼らが大学生になり上京してからの青春を綴った続編も作られ、その中に登場する喫茶店の場面は、阿久さんの青春の思い出が詰まった「さぼうる」で撮影されました。胸に手当てれば思い至る若い頃の苦い体験—サボって、ミスって、パニックって…。この先、トラブらぬ人生を歩みたいものです。

私の☆つばやき

～サロン・ツイッター・コーナー～

☆どちらが正しいでしょう？

- ア 彼はだれにでも あいそうをふりまく。
イ 彼はだれにでも あいきょうをふりまく。
- ア 人びとの期待はいやが上にも盛り上がった。
イ 人びとの期待はいやが応でも盛り上がった。
- ア いいことだらけの旅だった。
イ いいことづくめの旅だった。
- ア 金持ちが金にあかせて集めた美術品だ。
イ 金持ちが金にまかせて集めた美術品だ。
- ア 君、いくら考えても「下手の考え休むに似たり」だよ。
イ 君、いくら考えても「下手な考え休むに似たり」だよ。
- ア そんなこと言われると、めざめが悪い。
イ そんなこと言われると、ねざめが悪い。
- ア 葬儀が ひめやかに行われた。
イ 葬儀が しめやかに行われた。
- ア そういう恩に着せる言い方はよくないよ。
イ そういう恩を着せる言い方はよくないよ。

<正解> 1.イ 2.ア 3.イ 4.ア 5.ア
6.イ 7.イ 8.ア

(サンリオ「小学校で習った日本語」より。)



「府中西高定期演奏会、迫る！」

全国高校合唱コンクールの常連校、都立府中西高校合唱部の素晴らしいコンサートがまた聴けます。

- 3月30日(月)午後6時30分開演
- 府中の森芸術劇場「どりーむホール」
(京王線東府中駅徒歩7分)
- 入場無料

100名を超える大部員の迫力、そして絶妙のハーモニーは、府中市音楽グループの最高峰のひとつ。一度聴いたらやみつきに。

こんな素晴らしいコーラスが無料で聴けるなんて、府中に住んで良かった！
(編集部)

世の中あれこれ

「梅の季節に思う」

この冬は冷え込みが厳しく、梅の開花も遅れています。それでも、郷土の森で梅が咲き始めました。梅林が満開を迎えると、紅白の花が咲き誇ります。白もきれいですし、紅もきれいです。紅白が共存することで、一際美しくなります。

私たち人間も、皆がいろいろな考えや宗教心や拘りを大切に生きています。一人一人の本心は紅と白から違います。とくに日本人は、本当の気持ちを抑えて周囲に合わせ、一致を装う傾向がとても強いため、自分らしい生き方になれず、多様なストレスを抱え込みやすくなっています。我慢しきれなくなると、強い自己表現をしてしまい、一見強そうに見えますが相互理解に至らず、相互不信へと進みがちです。

郷土の森の梅の中には、一本の木のなかに、紅白の花が両方咲く種類もあります。私たち人間も、一人一人が本来持つ違いを、お互いに非難しあうのではなく、尊重しあい、異質な人々が共存するからこそ、補い合って美し

い社会をきつと作ることができるようになるでしょう。国際交流サロンがそのような場の先駆けとなることを念じて止みません。
(サロンOB小林啓一郎)

<編集部からお知らせ>

10年以上にわたり好評連載の小林啓一郎さんの「世の中あれこれ」は今月号をもって終了します。小林啓一郎さん、長期間のご寄稿本当にありがとうございました。

～編集後記～

今月号をもって、10年間務めてきた「くろすろ一ど」編集長を退任し、和田泰弘次期編集長にバトンタッチすることになりました。

「十年ひと昔」と言いますが、過ぎてみるとあつという間でした。嬉しかったのは、「くろすろ一ど」を教材として使っていただけるカップルが最近増えたこと。編集者として何よりの喜びです。

色々ミスもありましたが、長期にわたるご支援とご指導、本当にありがとうございました。編集の良き相方として長期にわたり務めていただいた坂倉副編集長、お疲れさまでした。
(篠塚)

【編集】会報部会/ 安島、坂倉、篠塚、進藤、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail : salon@fuchukokusai. gr. jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai. gr. jp>

